

～和田地域の公共施設についてアンケートを行い、今後の方向性について話し合いました～

公共施設再配置 和田地域モデル事業として、平成 29 年 11 月中に公共施設に関するアンケートを行い、それに基づいた話し合いを平成 30 年 2 月 16 日（4 回目）、4 月 12 日（5 回目）、5 月 8 日（6 回目）に、それぞれ和田公民館（4 月以降「和田市民センター」）において行いました。

前回の話し合い（10 月 12 日、3 回目）では、和田地域の「高瀬」「和田（埜・夏切）」「米光」「馬神」4 エリアの中から、新しい支所・公民館は「和田（埜・夏切）」での整備を最優先に検討することが決まりました。

次のステップとして、和田地域にある公共施設で、新しい支所・公民館を軸として、集約化や複合化が図れる施設がないかといったことを検討します。

その第 1 段階として、この 3 回にわたる協議では、和田地域にある公共施設の今後の方向性について、話し合いを行いました。

1. 公共施設のあり方に関するアンケートの実施

各施設の今後の方向性（どうあるべきか）について検討しますが、このテーマについて話し合う上で、各施設の実際の利用者はもちろん、施設近辺にお住まいの方々なども含めて、幅広い意見を集めて参考とするために、地域の皆さまへアンケートを実施しました。

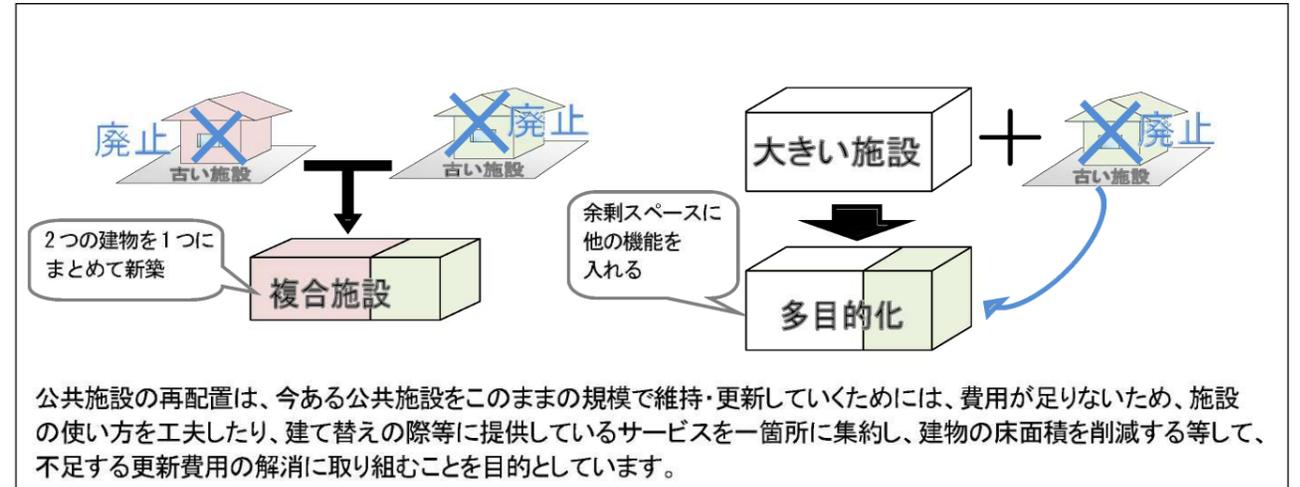
アンケートは和田地域内の公共施設について集約化※が検討できないかという内容で、昨年 11 月中に、プロジェクトW委員等を中心に、会合や協議などの場や会話の際に併せて実施した結果、地域内の 20 施設について、合計 318 件の意見をいただくことができました。

記入日	性別	年齢層
月 日	男・女	0～10代・20代・30代・40代・50代・60代以上
施設名	施設との関係 施設利用者 将来の施設利用者 施設近辺の方 その他	ご意見
	施設利用者 将来の施設利用者 施設近辺の方 その他	

★別紙の記入例（施設名の一覧も入っています）を参考にしてください。

アンケート用紙

※公共施設の集約化のイメージ



アンケートで施設について実際に考える際のポイントとして以下の事柄を挙げました。

- ・どのような使い方をしているか。
- ・その施設を使っていない人は、どういう点が改善されたら使うか。
- ・ある特定の人（グループ）だけが使っていないか。
- ・その施設がなくなったらどういった不便があるか。
- ・施設の中にあまり使われていない部屋など、余剰スペースがないか。
- ・使い方が似たような施設がないか。1つに集約できないか。
- ・別の施設と1つにすることで、利便性が上がったり、新たな交流が生まれたりしないか。
- ・運営方法を工夫したら、地域内外の人がもっと使いやすくなるか。
- ・他の地域にある施設・サービスを利用することで、活動がより発展するようなことはないか。

※主な意見、特徴的な意見は<資料1>として添付しますのでご覧ください。

2. 和田地域の公共施設の方向性について（3回にわたる協議）

アンケートも参考に、和田地域の公共施設の今後の方向性について話し合っていくこととし、まず2月に和田エリア（埜・夏切）について話し合い、4月には高瀬エリアについて、5月には米光エリア、馬神エリアについて話し合いました。



(1) 話し合いの視点(今後の方向性)

和田地域内の公共施設について、サービス面とハード面から、施設の方向性を話し合いました。

和田支所を例にとれば、支所で提供している「転居届などの受付」「住民票の交付」などの行政サービスをどうするのかというサービス面と、今の場所にある2階建ての建物を今後どうするのかというハード面との2面について今後の方向性を検討することになります。

方向性は以下の選択肢の中から1つ選ぶこととしますが、適用できる手法については、その方向性を実現できると考えられるものであれば、選択肢の中からいくつでも選べます。

<方向性> いずれか1つを選択

- ①長期継続…地域に不可欠な施設であり、今後もずっと継続すべきと思われる施設
- ②中期継続…現時点では必要であるが、「施設の利用が低調」「住民のニーズが不明確なこと」「建物の老朽化」などが見られることから、概ね10年後を目途に、サービスやハードのあり方について再検討が必要と思われる施設
- ③当面継続…現時点では必要であるが、「施設の利用が低調」「住民のニーズも低調なこと」「建物の老朽化」などが見られることから、3～5年後を目途に、もしくは多額の修繕や利用者の大幅な減少等が生じた場合には、サービスやハードのあり方について再検討が必要と思われる施設
- ④見直し…現在の施設の状況により、「施設の利用がほとんど無い」「住民のニーズも低調なこと」「建物の老朽化」などが見られる状態を踏まえると、施設の廃止を含めて、近いうちに、今後の方向性を検討すべきと思われる施設

<適用できる手法> 方向性の実現に適用できそうなものすべてを選択

- a 複合化…2つ以上の施設を集約し、まとめる
- b 規模の縮小…未利用スペース・サービスの縮小などを図る
- c 運営方法の改善…民間活力の導入・コストの見直しなどを図る

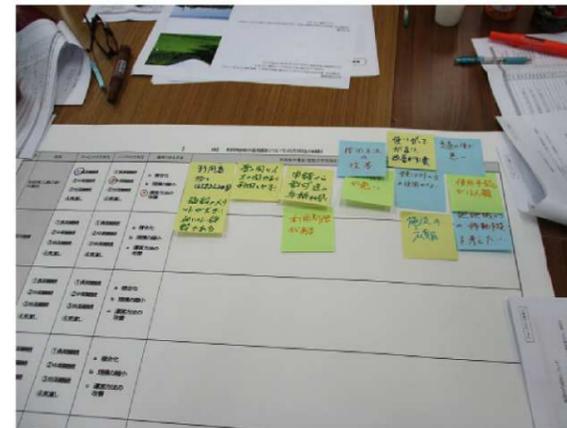


(2) グループワーク形式での実施

参加されたプロジェクトW委員の皆さまから、率直かつ幅広い意見を数多く出してもらう必要があることから、前回と同様、グループワーク形式を取り入れて協議を行うことにしました。

3つのグループ(高瀬エリアは2グループ)に分かれ、付箋に自分の思う方向性や意見を書いて大判用紙に貼り付け、その内容を基にグループ内で話し合い、その施設の今後の方向性と手法を決定していきます。付箋を使うことにより、考えを見える化でき、意見を視覚的に容易に整理することができます。

このようにして出された意見をエリアごとに取りまとめたものを<資料2>～<資料5>として添付しておりますのでご覧ください。



3. 次回の協議

集約化等の検討の第1段階として、3回にわたる協議において、和田地域の公共施設の今後の方向性についての意見が出されましたので、次回の協議では第2段階として、これらを踏まえて、新しい支所・公民館との集約化や複合化をどうするのか、検討していきます。開催は6月下旬の予定です。

【集計表】和田地域モデル事業「地域内の公共施設の集約化に向けた検討」アンケート

エリア	施設	意見数	男女比			年代						主な意見、特徴的な意見	
			男	女	不明	0～10代	20代	30代	40代	50代	60代以上		
高瀬	高瀬集会所	18	3	15					4	14	○高瀬住民はよく利用する ○冷房設備がない	○天井が高いため、暖房が効きづらい ○調理室が狭い	
	高瀬サン・スポーツランド	21	11	10		4		1	2	5	9	○キャンプ場やテニスコートはよく利用されている(土日) ○周辺に食料品を購入できる場所がない	○ゲートボール場の利活用や再整備
	もみじ小屋	15	9	6					2	6	7	○利用したことがない ○使い方が分からない(問い合わせ先、料金など) ○小屋が暗く、老朽化している	○使いやすいように整備してほしい ○解体したほうがよい
	かじか小屋	13	9	3	1	1			2	4	6	○場所が分からない ○利用したくても利用できない、よく分からない(場所、問い合わせ先、料金など)	○老朽化しており、利用がないので廃止したほうがよい ○トイレを整備したほうがよい
	高瀬消防機庫	2	2						1	1		○防災機能として必要	○消防団員の確保が難しい(地域組織の見直し必要)
	生活環境保全林作業小屋	1	1								1	○車止めが無ければ利用者あるかも	
和田 (埜、夏切)	和田支所	18	8	10			2	1	1	9	5	○機能は必要 ○支所と公民館は1つの施設内がいい ○学校とも1つの施設にしてはどうか	○学校施設の活用 ○ATM、医療機関などの併設
	和田公民館	47	11	33	3	3	2	2	6	15	19	○高い場所にあり大変 ○2階は階段を登る必要があり、高齢者には大変 ○トイレ・図書室などもっと使いやすくしてほしい	○支所と公民館は1つの施設内がいい ○支所・公民館・小学校・中学校を1つの施設にまとめては
	和田児童クラブ	8	2	6			2			3	3	○小学校の中になって、遠くに行かなくてよかった	○授業で使う教室を使用するため、荷物の移動などが必要
	和田小学校	28	9	18	1	2	3	3	5	6	9	○維持して欲しい ○小中一貫教育になればいい ○外壁が汚れている	○支所・公民館とひとつにしたらどうか ○今の子供の人数から、我が子が中学生になったときに適切な教育環境が保たれているか不安。中学校は統合してほしい。
	和田中学校	24	12	11	1	4	2	2	6	3	7	○維持して欲しい ○小中一貫教育になればいい ○市街地の学校についていけない子供達をバス等で受け入れることはできないか	○維持して欲しいが、難しければ完全送迎することで市街地の学校に行くことも仕方ない ○体育館を授業や部活がない時間帯にもっと活用できれば
	和田消防機庫	4	4						1	1	2	○トイレがなくて不便	○消防団員が少なく運営は難しそう
	和田地区教職員住宅	23	12	10	1	6	1	2	2	4	8	○老朽化して景観が悪い ○解体して更地にすべき	○アパートとして再整備すべき ○個人が利用している
米光	和田老人憩の家・作業所	32	7	25		2		2	3	4	21	○どうしたら利用できるか分からない ○普段から誰でも利用できればいい	○地域や個人に譲渡したらどうか
	米光消防機庫	2	2								2	○現状維持	
	米光公園	21	9	12		12			3	2	4	○ボール遊びに制約がある ○遊具に不満がある	○ゴミが多い
	米光児童遊園	6	3	3					1		5	○場所が分からない	○利用者がおらず必要ない
	米光広場	3	1	2					1		2	○場所が分からない	
馬神	馬神集会所	19	5	12	2					6	13	○冷房設備がない ○部屋が狭い	○畳敷きのため、イスがほしい
	馬神消防機庫	2	1	1						1	1	○団員の確保が難しそう	
	全体・複数施設	8	2	6		1			4	2	1	○中学生が気軽に集える施設がほしい	○どの施設もたくさんの人が簡単に使えるようにすべき
	施設、意見内容不明	3											

合計	318	123	183	9	35	12	13	40	76	139
		39%	58%	3%	11%	4%	4%	13%	24%	44%

※ アンケート結果は枚数が多いため概要版としました。和田支所・市民センターに一覧を据え置いていますので、お申し出いただければご覧になれます。

<資料2>

和田地域の各施設についての方向性の検討 ①和田エリア（埜、夏切）

エリア	施設	1班			2班			3班		
		サービスの方向性	ハードの方向性	適用できる手法	サービスの方向性	ハードの方向性	適用できる手法	サービスの方向性	ハードの方向性	適用できる手法
和田 (埜・夏切)	和田支所	①長期継続	④見直し	a 複合化	①長期継続	③当面継続	a 複合化 b 規模の縮小	①長期継続	④見直し	a 複合化 b 規模の縮小
		<ul style="list-style-type: none"> 支所、市民センターは統合して継続する 支所地域の拠点として必要 サービス機能の維持 消防機庫の機能・設備を統合（市消防とホットラインでつなぐ） 			<ul style="list-style-type: none"> サービスは維持（必要） 建物は今の規模は大きいので縮小 他の施設と複合化 和田支所は必要（市民相談、証明発行など和田で済む） 建物が災害危険区域なので、他の場所に建て替えまたは複合化が望ましい サービス①、建物②、手法b サービス必要①、建物見直しでもいいのでは。 たとえ人口が減っても同じ周南市民として平等にサービスが受けられることが必要、遠くまで行くことや電話等での相談だけでは不十分と思う。 			<ul style="list-style-type: none"> 支所と公民館複合化 （支所と公民館）それぞれの規模を縮小しつつ複合化する 複合化を見据えてハコモノの見直し 学校を1つの建物にまとめて、複合化と規模縮小、学校の空き教室を使用して行う 複合化すると、平日職員不在ということがなくなる 支所、公民館複合化 同じ施設にしたほうが使用しやすい 支所には利用していない部屋がある。公民館に集約し、充実したほうがよいと思う 支所、公民館が分かれていると管理が難しい 		
	和田公民館	①長期継続	④見直し	a 複合化 c 運営方法の改善	①長期継続	④見直し	a 複合化	①長期継続	④見直し	a 複合化 b 規模の縮小
		<ul style="list-style-type: none"> 市民センターとしての運営 和田地域の拠点として重要 多機能な設備が必要 			<ul style="list-style-type: none"> サービス①、建物④もっと改善、手法d 人が集まる施設で今後とも残してほしい 建物は古い 他の施設と複合化する 作業するのに狭い 駐車場の狭いので広い場所を確保してほしい サービス①必要、建物② サービス①、建物④ 			<ul style="list-style-type: none"> 支所と公民館複合化 （支所と公民館）それぞれの規模を縮小しつつ複合化する 複合化を見据えてハコモノの見直し 学校を1つの建物にまとめて、複合化と規模縮小、学校の空き教室を使用して行う 複合化すると、平日職員不在ということがなくなる 支所、公民館複合化 同じ施設にしたほうが使用しやすい 支所には利用していない部屋がある。公民館に集約し、充実したほうがよいと思う 支所、公民館が分かれていると管理が難しい 		
	和田児童クラブ	①長期継続	①長期継続	適用できる手法 a 複合化	②中期継続	③当面継続	a 複合化	①長期継続	①長期継続	適用できる手法
		<ul style="list-style-type: none"> 地域活性化の拠点として必要施設 夢プランの理念と整合性を図る 児童クラブ継続だが市民センターに移行(しては) 			<ul style="list-style-type: none"> サービス③、建物③、先の児童数をみて 学校がある限り必要 建物は小学校の部屋でよい 今のままでよい 児童クラブは小中学校に関係なく必要である サービス①必要、建物① サービス①または②、建物①または② 基本的に小学校が維持されてる限り必要 			<ul style="list-style-type: none"> 学校がある間は学校で行う 移動しなくて良いのがメリット 		
	和田小学校	①長期継続	①長期継続	a 複合化	①長期継続	①長期継続	a 複合化	②中期継続	①長期継続	適用できる手法
		<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育として児童数の増加 和田小中と和田支所・市民センター複合化 小中連携は進んでいる 耐震あり 			<ul style="list-style-type: none"> 学校は必要であるが、子供の人数が減ると、存続が難しくなる。平成29年の出生和田地区2名。子どもを増やそう。 長期維持してほしい（人数が減っても） 建物継続 願いとしては長期継続が希望だが、人数が少なくなり過ぎると子供たちの活動の幅が狭くなり、満足のいく環境が整いにくい気がする 建物をもっと外観からアピール。美しい。 サービス①必要、建物① 建物①、多目的利用が可能な作りの建物なので、壁や屋根など整備して利用していけると思う。 和田以外からの児童・生徒の受け入れも考えて、小中の建物②、手法c 			<ul style="list-style-type: none"> 小学校は地域の拠点としても継続 ホールは地域の様々な機能に使用しているので残してほしい（芸能発表、PTA活動の充実） その都度保護者や児童生徒の意見を聞くことが重要 		
	和田中学校	①長期継続	①長期継続	a 複合化	③当面継続	②中期継続	a 複合化	④見直し	②中期継続	a 複合化 c 運営方法の改善
		<ul style="list-style-type: none"> 地域が中学校の空き教室を利用・活用する 小中連携は進んでいる 耐震あり 			<ul style="list-style-type: none"> 和田小・中学校は一つの校舎でよい 人数が多くなって楽しくなると思う 生徒数が減るとクラブとか難しい 建物継続 サービス①または②、希望は①だが人数が減り過ぎると幅広い活動が難しい サービス①必要、建物① 小学校と中学校を一つの建物にするというのいいと思う 和田以外からの児童・生徒の受け入れも考えて、小中の建物②、手法c 			<ul style="list-style-type: none"> 中学校は部活、勉強、初恋いろいろな体験を含めて大規模(校)への(通学)もあり 他校との交流を増やし、継続してほしい 交流事業を通して、小規模校のデメリットを軽減する 中学校の機能を小学校に移し、空いた中学校の建物に支所、公民館機能を入れたり、空き教室をいろんな活動スペースに使える その都度保護者や児童生徒の意見を聞くことが重要 		
	和田消防機庫	①長期継続	④見直し	a 複合化 c 運営方法の改善	①長期継続	③当面継続	a 複合化 b 規模の縮小	④見直し	④見直し	c 運営方法の改善
		<ul style="list-style-type: none"> 各機庫統合して機能の充実 消防車2台を1台にして機能充実 			<ul style="list-style-type: none"> 消防団が必要であるが、団員が少ない（少なくなる） 和田地域で集約する（4か所を2か所とか） 長期に必要 建物は古いので他の施設と複合化していく サービス①必要、建物はわからない 			<ul style="list-style-type: none"> 女性消防団員も所属しているので、トイレが必要 5分団を2分団にするなどの見直しが必要 		
和田地区 教職員住宅	④見直し	④見直し	適用できる手法	④見直し	④見直し	適用できる手法	④見直し	④見直し	適用できる手法	
	<ul style="list-style-type: none"> 若者定住促進住宅 									

和田地域の各施設についての方向性の検討 ②高瀬エリア ※高瀬エリアについては2グループで話し合いを実施

エリア	施設	1班			2班		
		サービスの方向性	ハードの方向性	適用できる手法	サービスの方向性	ハードの方向性	適用できる手法
高瀬	高瀬集会所	①長期継続	①長期継続	a 複合化 c 運営方法の改善	①長期継続	②中期継続	a 複合化 c 運営方法の改善
		<ul style="list-style-type: none"> 高瀬の拠点である 地区の拠点 イベントの拠点として必要 イベントに必要な施設 コミュニケーションの場所（拠点） 地域には拠点が必要であり拠点を結ぶためにも重要 地域の集会所として活用 地区集落のほぼ中心にある 避難所であり、防災上必要 		【その他意見（発表内容）】 ・複合化という意見は、高瀬・サンスポーツランドと連携していくということ	<ul style="list-style-type: none"> 活動や集う拠点の場 イベントで（クイーン祭等）利用しているので必要 住民の集いの場として必要 よく利用されているし、利用してほしいから 高瀬をよくする会を中心にしっかり活動されているから 木（⇒木造）がすごくいい 高瀬の地域性のあるクイーン祭やテニスコート、高瀬峡などの観光資源がある地域民の集会所は必要であるが、人口減等を考慮し10年後を目途に再検討 イベントで他地域、人が集まって来る。特産品を販売できる施設があったらよい。 施設を継続するためには改修が必要 何か複合してもよいかも 	【その他意見（発表内容）】 ・サービスとしては地域の拠点として必要 ・（今回集まった）高瀬地区以外の人は集会所と高瀬・サンスポーツランドが一体的なものだという感覚・高瀬・サンスポーツランドへの機能の複合化について検討する必要があるのではないか	
高瀬	高瀬サン・スポーツランド	①長期継続	①長期継続 ④見直し	a 複合化 b 規模の縮小 c 運営方法の改善	①長期継続	③当面継続	a 複合化 c 運営方法の改善
		<ul style="list-style-type: none"> ゲートボール場は未利用。老朽化している。 ゲートボール場を他の利用に変換する 利用者が少ないようだ テニスコート等利用率が高い。利用率が低いものは廃止 スポーツ施設として活用（利用者増加） （観光・スポーツ）資源として活用すべき 地域の活性化につながっている（他地域からの来訪者あり） 売店の設置（地域に飲食物の購入できる店がない） 施設内で地域の特産品を販売する。 		【その他意見（発表内容）】 ・和田地区において、地区外から人がくる施設はここしかない ・利用者は土日が多い ・地域として重要な施設 ・テニスコートが部分的に剥けている箇所があり、そういった部分については直していく必要がある ・地区の売店がなくなり、来た人が物を買う所、食べる所がない	<ul style="list-style-type: none"> 他の地域の方も来られるし必要。よく使う。 他地域の人が訪れやすい場所 高瀬の建物の象徴 利用される方が多いので必要 地区の方が動いていい 運営方法の変更 ⇒地元管理による柔軟な運営、機能の複合化 高瀬集会所やキャンプ場、高瀬峡とセットで考えたい 管理を地元をお願いする 	【その他意見（発表内容）】 ・芝の傷みやゲートボール場の老朽化、トイレが洋式でないなど、施設を継続していくなかで改修が必要ではないか ・高瀬・サンスポーツランドには人が来るが、地元が活かしきれていない ・現在体育協会が運営を請けているが、特産品の販売や常駐している人に地域の事務局機能を担ってもらうなど、地元で請け負って柔軟な運営に改善してはどうか	
高瀬	もみじ小屋	④見直し	④見直し	a 複合化 b 規模の縮小 c 運営方法の改善	④見直し	④見直し	
		<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化 必要性？ サンスポーツランド、新平ヶ原、キャンプ場を充実させる 		【その他意見（発表内容）※かじか小屋と共通】 ・（今回参加したメンバーも）行った人が少ない ・電気設備もなく、いつも暗い状態となっている ・この1～2年、利用者もほとんどいない	<ul style="list-style-type: none"> 地区民の意見（＝アンケート結果）を見ても（見直し） 	【その他意見（発表内容）※かじか小屋と共通】 ・いまの時代にあわないことから、サービス・建物ともに見直しが必要 ・施設の修繕を行わないまま残しても、見た目が悪い ・同様の機能をもたすのであればキャンプ場に代替施設を作る方法などあるのではないか	
高瀬	かじか小屋	④見直し	④見直し	a 複合化 b 規模の縮小 c 運営方法の改善	④見直し	④見直し	
		<ul style="list-style-type: none"> 役目は終わった。解体。 遊歩道の利用があるが休息する人がいない。 老朽化の為、東屋・ベンチ等へ変更 高瀬峡の休憩所は必要 		【その他意見（発表内容）※もみじ小屋と共通】 ※同上	<ul style="list-style-type: none"> 地区民の意見（＝アンケート結果）を見ても（見直し） 	【その他意見（発表内容）※もみじ小屋と共通】 ※同上	
高瀬	高瀬消防機庫	②中期継続	①中期継続	a 複合化 c 運営方法の改善	①長期継続	③当面継続	a 複合化 c 運営方法の改善
		<ul style="list-style-type: none"> 防災の為、必要 地域の安心・安全の為、必須 防災機能として必要であるが… 和田地区全体で検討が必要 団員不足、年より活用・女性活用 女性団員の確保 女性の勧誘 		【その他意見（発表内容）】 ・団員の定年が60歳から65歳に延び、もう5年はいまの現状の人数を維持できるが、人数をもっと増やす必要がある	<ul style="list-style-type: none"> 消防の機能は何かしら必要 和田全体として考える。機能の統一 高瀬単独ではなく和田地区で合同にしてみたら 	【その他意見（発表内容）】 ・安心、安全の面からも機能（サービス）については長期継続 ・今後、消防団が継続できるのかということ、いまの場所に機庫があるのかどうかについては検討が必要	
高瀬	生活環境保全林作業小屋	④見直し	④見直し	c 運営方法の改善	④見直し	④見直し	
		<ul style="list-style-type: none"> 利用度減、見直し 利用者がいない 発想を変えての活用は？ 利用方法の検討 目的を聞いたら必要だが当面不要と思える。 		【その他意見（発表内容）】 ・（今回参加したメンバーも）みんな行ったことがないし、当初から使ったことがない ・最初の段階で利用の方法を考えず建設したことに問題があるのではないかと ・行ったことがないのであれば、どういう方法で使えるかについて行って考えてみる必要があるのではないか	※付箋なし	【その他意見（発表内容）】 ・（今回参加したメンバーも）誰も行ったことがない ・サービス、建物について見直しという意見であった	

<資料4>

和田地域の各施設についての方向性の検討 ③米光エリア

エリア	施設	1班			2班			3班								
		サービスの方向性	ハードの方向性	適用できる手法	サービスの方向性	ハードの方向性	適用できる手法	サービスの方向性	ハードの方向性	適用できる手法						
米光	和田老人憩の家・作業所	①長期継続	②中期継続	c 運営方法の改善	①長期継続	②中期継続	c 運営方法の改善	④見直し	②中期継続	c 運営方法の改善						
		<ul style="list-style-type: none"> 利用者が多い 現状利用者がいる 米光の中核施設として継続必要（投票所、避難所など） 米光地区の拠点として必要 設備はあるのに有効に利用されていない 駐車場の確保（が課題） 市民センター分室として使用（してはどうか） 自治会利用、多目的利用（してはどうか） 名称を変更して利用しやすいようにする 名称の変更（してはどうか） 広い世代が利用できるように名称変更する 			<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐車場が少ない 名称が「和田」は和田全体を指すイメージで、「老人」では幅広い世代が使用できないイメージとなる。例えば「米光憩いの家」にしてはどうか 風呂のある特別な施設 			<ul style="list-style-type: none"> 利用者が多い（65才以上の方） 施設のメリットが大きい。他にない施設である 畳の間（⇒和室）とイスの間（⇒フローリング）があり利用しやすい 利用制限がある 米光以外の方の使用がない 使用手続がはん雑 使い勝手が悪い、改善が必要 交通の便が悪い 借用方法の改善 申請から許可までの手続きを早く 施設の広報（が必要） 他地域（から）の移動手段について考えたい 			<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備が充実している お風呂がある施設は和田地区内にない 米光地区以外の人は施設があることを知らない 使用するために市に申請を出し、許可が必要 65歳といった制限について改善する必要がある 			<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「老人」という名前がついていると、老人が使うイメージになってしまう 実際にはいろいろな用途で使っているが、皆さんわかっていない 		
		サービスの方向性	ハードの方向性	適用できる手法	サービスの方向性	ハードの方向性	適用できる手法	サービスの方向性	ハードの方向性	適用できる手法						
		①長期継続	②中期継続	c 運営方法の改善	①長期継続	①長期継続	a 複合化 c 運営方法の改善	③当面継続	②中期継続	a 複合化 c 運営方法の改善						
<ul style="list-style-type: none"> 現状のまま当面継続 米光地区の火災初期消火機能として継続必要 米光地区として必要である 住宅が多く防災上重要 利用制度の改革（が必要） 防災・安全の為に必要な施設。ただ、人員数の確保が大変な地区もあり運営方法の改善要 他地区を合併し重点強化（和田で2ヶ所に） 			<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防機能はそれぞれの地区で必要 			<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状は人数も確保出来ている 消防団員の減少 団員が少ない。女子団員もいない状況。 和田地区の機庫はハードがしっかりしている（耐震性あり） 消防車は5名そろわないと出動できない サイレンの管理など消防団員外の人（の力も必要） 女子カアップで団員加入を（促す） 近隣とで合同活動（米光・馬神）など 和田地区全体でシステムを考える 			<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄骨造りで頑丈な造りとなっている 当面はサービスもハードも長期継続ではあるが、和田地区のどこかに集約するなどの見直しも必要 			<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> （前回の）高瀬エリアのときと似たような意見となった 				
米光	米光公園	②中期継続	②中期継続	c 運営方法の改善	①長期継続	①長期継続		①長期継続	③当面継続	c 運営方法の改善						
		<ul style="list-style-type: none"> 現状、学校以外で子どもの集まれる場所が他にない。管理方法等検討が必要 公園として使用可能なように修理 キャッチボール（ができるよう）フェンスをつける フェンス施設⇒高さ4～5m 			<ul style="list-style-type: none"> 子供は少ないが休日には利用する子供がいる 子育て世代の話し合いの場になっている 米光団地は良く利用しており必須である 米光地域の子どもの遊び場として唯一の施設 キャッチボールができない公園が増えている キャッチボールができる程度に改善を！ 			<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供が休みのときには頻りに利用している ボール遊びがしにくい 子供は少なくなっている が運営方法の改善が必要ではないか 			<ul style="list-style-type: none"> みんなが使いやすい様に（改善） 遊具等の更新 					
米光	米光児童園	④見直し	④見直し	c 運営方法の改善	④見直し	④見直し	a 複合化 b 規模の縮小 c 運営方法の改善	④見直し	④見直し	c 運営方法の改善						
		<ul style="list-style-type: none"> 米光公園に統合する⇒廃止 機能としては米光公園に統合する 米光公園を児童遊園と併用 			<ul style="list-style-type: none"> 利用する子はいない 草刈りが大変で使用が少ない 管理が大変 			<ul style="list-style-type: none"> 借地廃止する サービス、ハードとも不要 宅地？になる 			<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> どこにあるのか、誰が使っているのかわからない 					
米光	米光広場	③当面継続	④見直し	a 複合化	①長期継続	①長期継続	c 運営方法の改善	①長期継続	①長期継続							
		<ul style="list-style-type: none"> 落葉の掃除が困るから切除 集計施設として維持(地域の意見を聞いて活用を) ポケットパークとして必要か（地域の意向による?） 自由（に使える）駐車場として改善 低い樹木を植える⇒2m以下 樹木の管理はボランティアを募る 			<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 団地をつくったときに必要ということであれば、なす訳にはいかないのではないか 			<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用する人がいない 			<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ルールの中で公園を造らないといけないということであれば動かしようがない 					

和田地域の各施設についての方向性の検討 ④馬神エリア

エリア	施設	1班			2班			3班		
		サービスの方向性	ハードの方向性	適用できる手法	サービスの方向性	ハードの方向性	適用できる手法	サービスの方向性	ハードの方向性	適用できる手法
馬神	馬神集会所	①長期継続	②中期継続	c 運営方法の改善	①長期継続	①長期継続	c 運営方法の改善	①長期継続	②中期継続	c 運営方法の改善
		<ul style="list-style-type: none"> 地域の拠点として必要 避難場所、備蓄食料を置く場所 地域の拠点として必要、建物も比較的新しい 馬神地区の人が集まる場所が必要 馬神地区の中核施設として利用増を考える 高齢者の活動増加 市民センター分館として利用 	<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用率(平成28年度データ)は少ないが、いまは百歳体操で毎週利用している 地区のイベントや行事がないので、集まる機会を増やすようにしたらどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 馬神地域の拠点施設として重要 馬神地区の拠点施設 利用は少ないが設備は良い 米光老人憩の家と同じく使い勝手が悪い (馬神)地区全体の利用が少ない 活用方法の工夫(が必要)、施設は良い 利用方法の明確化(鍵の管理) 	<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用率は約2%と少ないが、比較的新しい施設である もっと利用できればよい 唯一のコミュニティの拠点 	<ul style="list-style-type: none"> もっと利用できたら… もっと使いたいです 農業施設からコミュニティセンターへ 	<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> いまも利用されているので、もっと利用しやすいようになればよいのではないかと 			
	馬神消防機庫	②中期継続	②中期継続	a 複合化 c 運営方法の改善	①長期継続	①長期継続	a 複合化 c 運営方法の改善	③当面継続	②中期継続	a 複合化 c 運営方法の改善
		<ul style="list-style-type: none"> 他地区の同じ施設と一緒にする 団員確保が難しいようであれば米光と合併 必要であろう 馬神地区の消防拠点が必要、消防団員の確保を考える中で見直す 各地域にサービスは必要。ただ、和田全体でネットワークを作り(複合化?)対応できるよう検討すべき 施設をなくさず消火場所によって利用する 	<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和田地区全体としてネットワークを作って消防機庫を利用できるようにしたらどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性があり、ハードがしっかりしている 設備が新しい 	<p>【その他意見(発表内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要であるが、米光も含めて運営方法の改善を考えていければという意見があった 	<ul style="list-style-type: none"> 和田地区の消防団、設備として検討 米光と一緒に** 消防団機能は必要だが米光と一緒に** 火事に対応できればOK <p>※以下、米光地区の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 和田消防団(として考えたらどうか) サービスの見直しに合わせて機庫の統合も検討 消防の機能は必要だが… 和田全体として考える 				